

I 総括事項

1 県内の状況

三重県の平成 20 年度末の市町数は 14 市 15 町、一部事務組合は 12 事務組合です。

平成 20 年 10 月 1 日現在の行政区域内人口は、1,869,669 人、世帯数 709,737 世帯であり、平成 19 年度より人口は 362 人の増加、世帯数で 10,465 世帯の増加となりました。

なお、県内全域が「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」第 6 条に基づく計画処理区域となっています。

区 分	県 計	市 計	町 計
面 積 (m ²)	5,772.45	4032.07	1,740.38
世帯数 (世帯)	709,737	624,541	85,196
人 口 (人)	1,869,669	1,635,576	234,093

2 一般廃棄物処理事業経費

(1) 歳入及び歳出

廃棄物処理事業経費歳入の内訳は、一般財源が 28,595,195 千円 (75.4%)、特定財源が 9,346,358 千円 (24.6%)、合計が 37,941,553 千円で平成 19 年度より 2.9%の増加となっています。

なお、割合としては、ごみ処理にかかる歳入が全体歳入額の 83.7%を占めています。

一方、廃棄物処理事業経費歳出の内訳は、建設・改良費が 5,018,623 千円 (13.3%)、処理及び維持管理費が 29,467,038 千円 (77.8%)、その他 3,386,035 千円 (8.9%) となっています。

建設・改良費の内訳は、ごみ処理施設の建設に係る経費は 4,731,712 千円、し尿処理施設の建設に係る経費は 286,911 千円となっており、建設・改良費全体は平成 19 年度と比較して 12.6%増加しています。また、処理及び維持管理費の内訳は、ごみ処理施設に係る経費は 24,715,459 千円、し尿処理施設に係る経費は 4,751,579 千円となっており、処理及び維持管理費全体は平成 19 年度より 2.5%増加しています。

【歳入内訳】

区 分		ご み	し 尿	計
特定 財源	国庫支出金	1,092,370 千円	83,598 千円	1,175,968 千円
	都道府県支出金	246,891 千円	49,215 千円	296,106 千円
	地 方 債	2,599,100 千円	59,200 千円	2,658,300 千円
	使用料及び手数料	2,878,655 千円	434,470 千円	3,313,125 千円
	そ の 他	1,703,546 千円	199,313 千円	1,902,859 千円
	小 計	8,520,562 千円	825,796 千円	9,346,358 千円
一 般 財 源		23,239,015 千円	5,356,180 千円	28,595,195 千円
合 計		31,759,577 千円	6,181,976 千円	37,941,553 千円

注：2重計上を避けるため、一部事務組合が市町から受け入れる市町分担金は集計に含めていない。

【歳出内訳】

区 分		ご み	し 尿	計		
建設・ 改良費	工 事 費	収集運搬施設	698,090 千円	0 千円	698,090 千円	
		中間処理施設	3,938,170 千円	132,603 千円	4,070,773 千円	
		最終処分場	47,869 千円	51,602 千円	99,471 千円	
		そ の 他	3,889 千円	102,706 千円	106,595 千円	
	調 査 費		43,694 千円	0 千円	43,694 千円	
	小 計		4,731,712 千円	286,911 千円	5,018,623 千円	
処理及び 維持管理費	人 件 費	一 般 職	2,378,344 千円	858,878 千円	3,237,222 千円	
		技 能 職	収集運搬費	3,798,999 千円	96,302 千円	3,895,301 千円
			中間処理費	1,374,027 千円	101,233 千円	1,475,260 千円
			最終処分費	321,847 千円	54,932 千円	376,779 千円
	処 理 費	収集運搬費	991,905 千円	24,704 千円	1,016,609 千円	
		中間処理費	5,470,057 千円	1,497,953 千円	6,968,010 千円	
		最終処分費	567,542 千円	438,760 千円	1,006,302 千円	
	車両等購入費		135,255 千円	231 千円	135,486 千円	
	委 託 費	収集運搬費	3,380,757 千円	489,384 千円	3,870,141 千円	
		中間処理費	4,439,925 千円	737,917 千円	5,177,842 千円	
		最終処分費	1,350,006 千円	350,733 千円	1,700,739 千円	
		そ の 他	178,823 千円	96,353 千円	275,176 千円	
	調査研究費		327,972 千円	4,199 千円	332,171 千円	
	小 計		24,715,459 千円	4,751,579 千円	29,467,038 千円	
そ の 他		2,312,406 千円	1,073,629 千円	3,386,035 千円		
合 計		31,759,577 千円	6,112,119 千円	37,871,696 千円		

注：2重計上を避けるため、一部事務組合が市町から受け入れる市町分担金は集計に含めていない。

3 廃棄物処理施設

(1) ごみ処理施設

ごみ処理施設は、1 県 11 市 4 町 5 事務組合に 33 施設設置され、処理能力は 2,984 t /日です。

施設種別	焼却処理施設			ごみ燃料化施設	合計
	全連続	准連続	バッチ		
施設数	10	1	15	7	33
処理能力 (t/日)	2,010	100	389	485	2,984

※ 平成 20 年度末現在において休止、廃止の施設及び平成 21 年度以降に完成の施設を除く。

(2) 粗大ごみ処理施設

粗大ごみ処理施設は、7 市 1 町 3 事務組合に 14 施設設置され、処理能力は 491 t /日です。

施設種別	破碎施設	圧縮施設	併用施設	計
施設数	11	0	3	14
処理能力 (t/日)	484	0	44	528

※ 平成 20 年度末現在において休止、廃止の施設及び平成 21 年度以降に完成の施設を除く。

(3) 資源化等を行う施設

資源化等を行う施設は、10 市 6 町 5 事務組合に 58 施設設置され、処理能力は 849.94 t /日です。

施設種別	選 別	圧縮・梱包	ごみ堆肥化	その他	計
施設数	24	23	6	5	58
処理能力 (t/日)	270.3	278.3	14.12	287.22	849.94

※ 平成 20 年度末現在において休止、廃止の施設及び平成 21 年度以降に完成の施設を除く。

※ 施設数、処理能力は重複する施設を全て含む。

(4) 埋立処分地施設

埋立処分地施設は、12市6町3事務組合に39施設設置されており、年間埋立量は101,238m³であり、全体容量7,665,081m³であり、残余容量1,857,559m³です。

施設種別	山間	平地	計
施設数	33	6	39
全体容量(m ³)	7,249,746	415,335	7,665,081
年間埋立量(m ³)	97,103	4,135	101,238
残余容量(m ³)	1,789,965	67,594	1,857,559

※ 平成20年度末現在において休止、廃止の施設及び平成21年度以降に完成の施設を除く。

※ 埋立終了施設は含む。

(5) し尿処理施設

し尿処理施設は、6市1町7事務組合に26施設設置されており、処理能力は3,098kl/日です。

施設種別	嫌気性	好気性	標準脱窒素	高負荷脱窒素	膜分離	下水投入	計
施設数	0	3	5	9	8	1	26
処理能力(kl/日)	0	43	733	1,247	775	300	3,098

※ 平成20年度末現在において休止、廃止の施設及び平成21年度以降に完成の施設を除く。

※ 施設数、処理能力は重複する施設を全て含む。

4 一般廃棄物処理事業従事職員（自治体）

平成 20 年度末における一般廃棄物処理事業従事職員は、ごみ処理で 1,274 人、し尿処理で 172 人が従事しており、ごみ処理従事者が 88.1%を占めており、ごみ処理従事者のうち、収集運搬職員が 47.1%を占めています。

（単位：人）

	一般職		技能職				合計
	事務系	技術系	収集運搬	中間処理	最終処分	その他	
ごみ処理	287	63	600	240	62	22	1,274
し尿処理	72	25	33	28	9	5	172
合計	359	88	633	268	71	27	1,446

5 一般廃棄物処理業者関係

一般廃棄物処理の委託・許可件数は、ごみ処理の委託業として 153 件、許可業として 1,076 件あり、うち、収集運搬に伴う件数が 91.9%を占めています。

し尿処理の委託・許可件数は、委託業として 15 件、許可業として 131 件あり、ごみ処理と同様、収集運搬が大部分で 96.6%を占めています。

また、業者数としては、合計 712 業者、7,259 人の従業員が従事しています。

（単位：件）

	収集運搬		中間処理		最終処分		合計	
	委託業	許可業	委託業	許可業	委託業	許可業	委託業	許可業
ごみ処理	102	1,028	40	43	11	5	153	1,076
し尿処理	11	130	1	1	3	0	15	131
合計	113	1,158	41	44	14	5	168	1,207

	ごみ（し尿兼業を含む）	し尿（ごみ兼業を含む）	業者数の実数の計
業者数（件）	648	117	712

	収集運搬 （他処理を含む）	中間処理 （他処理を含む）	最終処分 （他処理を含む）	従業員数の 実数の計
従業員数（人）	6,581	368	372	7,259

6 収集運搬機材

市町・一部事務組合、委託業者及び許可業者の所有するごみの収集運搬機材の合計台数は、4,831台、積載量は14,071tです。

また、し尿の収集運搬機材の合計台数は、640台、積載量は2,533klです。

	ごみ収集運搬機材(積載量:t)												
	直営分				委託業者分				許可業者分				合計
	収集車	運搬車		船 運搬船等の船	収集車	運搬車		船 運搬船等の船	収集車	運搬車		船 運搬船等の船	
		収集運搬	中間処理			収集運搬	中間処理			収集運搬	中間処理		
台数	374	34	22	0	348	25	27	11	3,197	767	23	3	
積載量	897	115	67	0	782	69	265	134	9,146	2,474	118	4	14,071

	し尿収集運搬機材(積載量:kl)												
	直営分				委託業者分				許可業者分				合計
	収集車		運搬車	運搬船等の船舶	収集車		運搬車	運搬船等の船舶	収集車		運搬車	運搬船等の船舶	
	バキューム車	その他			バキューム車	その他			バキューム車	その他			
台数	13	0	8	0	78	24	9	1	463	13	28	3	
積載量	27	0	56	0	338	74	74	10	1,471	68	221	194	2,533

7 収集形態

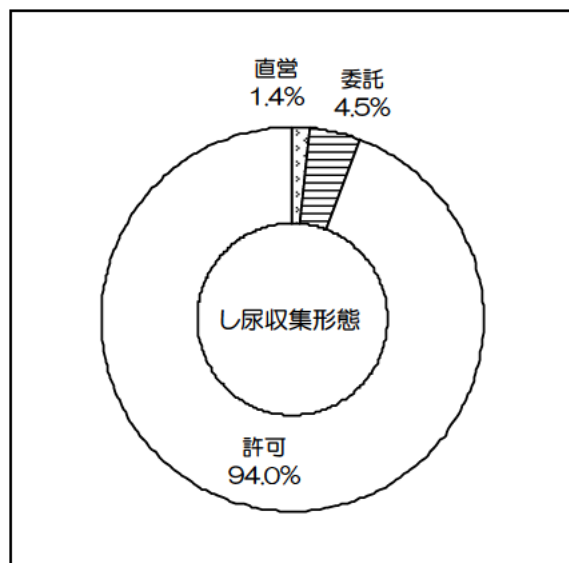
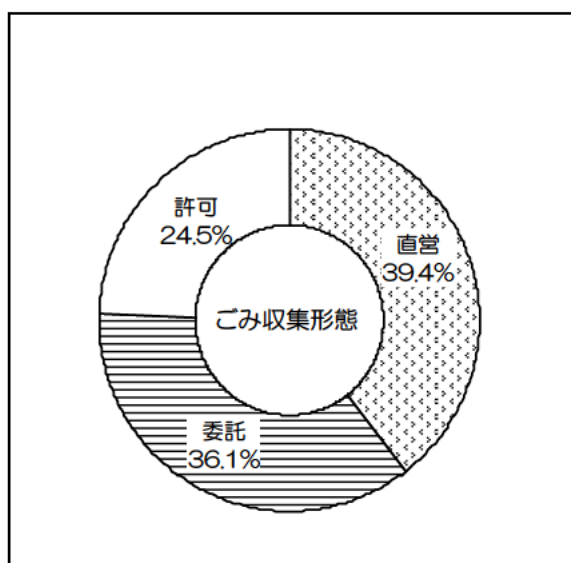
ごみの収集量は 616,782 t / 年（平成 19 年度比：3.7%減少）、し尿（浄化槽汚泥を含む。）の収集量は 677,553kl / 年（平成 19 年度比：0.7%減少）です。

形態別のごみの収集量は、直営が 242,863t / 年（平成 19 年度比：7.3%減少）、委託が 222,818t / 年（平成 19 年度比：0.3%増加）、許可業者によるものが 151,101t / 年（平成 19 年度比：3.5%減少）です。

形態別のし尿の収集量は、直営が 9,787kl（平成 19 年度比：1.9%減少）、委託が 30,772kl（平成 19 年度比：6.4%減少）、許可業者によるものが 636,994kl（平成 19 年度比：0.4%減少）です。

区 分		収 集 量	構 成 比	前年度比	
ご み	市町・組合によるもの	直 営	242,863 t / 年	39.4%	7.3%減少
		委 託	222,818 t / 年	36.1%	0.3%増加
		小 計	465,681 t / 年	75.5%	3.8%減少
	許可業者によるもの	151,101 t / 年	24.5%	3.5%減少	
計		616,782 t / 年	100.0%	3.7%減少	
し 尿	市町・組合によるもの	直 営	9,787kl / 年	1.4%	1.9%減少
		委 託	30,772kl / 年	4.5%	6.4%減少
		小 計	40,559kl / 年	6.0%	5.4%減少
	許可業者によるもの	636,994kl / 年	94.0%	0.4%減少	
	計	677,553kl / 年	100.0%	0.7%減少	

※構成比は、四捨五入により計と合わない場合があります。



8 処理形態

平成 20 年度におけるごみの処理量は、685,053t/年（平成 19 年度比：5.4%減少）、し尿（浄化槽汚泥を含む。）の処理量は 677,583kl/年（平成 19 年度比：0.7%減少）です。

ごみの形態別処理量としては、直接焼却処理量は 427,307 t/年（平成 19 年度比：3.0%減少）、粗大ごみ処理量は 22,710 t/年（平成 19 年度比：2.7%増加）、堆肥化処理量は 1,758 t/年（平成 19 年度比：15.1%増加）、燃料化処理量は 89,128 t/年（平成 19 年度比：3.1%減少）、その他資源化等処理量は 36,498 t/年（平成 19 年度比：3.1%減少）、その他処理量は 3,933 t/年（平成 19 年度比：3.6%減少）、直接資源化量は 61,640 t/年（平成 19 年度比：16.6%減少）、直接埋立量は 41,095 t/年（平成 19 年度比：19.9%減少）です。

また、自家処理量は 984 t/年（平成 19 年度比：29.6%増加）です。

し尿の形態別処理量として、し尿処理施設での処理量は 664,267kl/年（平成 19 年度比：0.8%減少）、下水道投入量 13,048kl/年（平成 19 年度比：7.0%増加）、その他処理は 238kl/年（平成 19 年度比：296.7%増加）です。

区 分		収 集 量	構 成 比	前年度比	
ご み	処理施設による 処 理 量	直接焼却	427,307 t /年	62.4%	3.0%減少
		粗大ごみ処理	22,710 t /年	3.3%	2.7%増加
		堆 肥 化	1,758 t /年	0.3%	15.1%増加
		飼 料 化	0 t /年	0%	前年度実績なし
		メタン化	0 t /年	0%	前年度実績なし
		燃 料 化	89,128 t /年	13.0%	3.1%減少
		その他資源化等	36,498 t /年	5.3%	3.1%減少
		そ の 他	3,933 t /年	0.6%	3.6%減少
		直接資源化	61,640 t /年	9.0%	16.6%減少
		直接埋立	41,095 t /年	6.0%	19.9%減少
	小 計	684,069 t /年	99.9%	5.4%減少	
	自 家 処 理		984 t /年	0.1%	29.6%増加
計		685,053 t /年	100.0%	5.4%減少	
し 尿	処理施設による 処 理 量	し尿処理	664,267kl /年	98.03%	0.8%減少
		ごみ堆肥化	0kl /年	0%	前年度実績なし
		メタン化	0kl /年	0%	前年度実績なし
		下水道投入	13,048kl /年	1.93%	7.0%増加
		農地還元	0kl /年	0%	前年度実績なし
		そ の 他	238kl /年	0.04%	296.7%増加
	小 計	677,553kl /年	100.0%	0.7%減少	
	自 家 処 理		30kl /年	0%	50.0%減少
計		677,583kl /年	100.0%	0.7%減少	